

組合員・全役職員の皆様へ

徳島健康生活協同組合  
理事長 児嶋 誠一

～つくろう新病院、広げよう明るいまちづくり～

## 【お礼】建設協力債 目標額達成！

誰もが安心して暮らし続けられる まちづくりへ

徳島健康生協は 1961 年、医療費が高額で、必要な医療を受けることができる住民がごくわずかな時代に「お金の心配をせず安心して医師に診てもらいたい」という住民の切実な要求にこたえるために設立され、患者の立場に立つ医療・介護を実践してきました。

わたしたちはこの考えのもと、経済的困窮者の医療から、公害、労働災害、災害救助など、困難かつ切実な患者・住民要求にこたえる医療活動に率先して取り組み、一貫して住民の健康を守り、相次ぐ医療・社会保障の改悪とたたかいながら、患者・住民と苦労を共に活動してきました。このような事業と運動を今、次の世代に引き継ぎ発展させていくことが求められています。

### 新病院建設の着工と資金の確保

そのために必要なことが、徳島健生病院の新病院建設です。2019年夏、新病院建設にむけた工事が着工しました。そして新病院建設を金融機関からの融資だけに頼るのではなく、出資金とともに、新たに「建設協力債」の協力を組合員・全職員にお願いしてきました。

### 建設協力債 純増3億円の達成！

2019年4月から取り組みを開始した「建設協力債」ですが、8月27日をもって、目標としていた純増3億円を突破することができました。組合員や全職員の皆様の多大なご協力のおかげで、当初9ヶ月をかけて達成する目標だったのが、約半分の5ヶ月で達成することができました。本当にありがとうございました。

### そして未来へ！

超高齢社会の今、様々な情勢の変化に対応していく必要があります。そして住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができることは、誰もが望むことです。そのようなまちづくりを進めるために、今後も様々な人々と手をつなぎ、連携しながら事業と運動を前進させていきます。

2020年度、新病院がいよいよ完成します。